

目	単 位 数	2 単 位
	使用教科書	『新 現代の国語』（三省堂）

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
4	導入	1	「言葉と声で表そう」 ●世界を言葉と声で表す	<p>1 写真を見て想像力をはたらかせ、石仏がなんと言っているのか、「せりふ」を考える。</p> <p>2 気持ちがそれぞれ伝わるように言い方を考え、実際に声に出す。</p> <p>3 二人組やグループで、自然なやりとりになる言い方を見つける。</p>	<p>知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。</p> <p>思考力、判断力、表現力等 書く イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫すること。</p>	<p>知識・技能 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・[知識・技能の評価規準]+[思考・判断・表現の評価規準]+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。</p> <p>例) 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
4 ～ 5	1 わかり合うために	8	「伝え合いに大事なことを考える」 ●情報を読み解く	1 「国語に関する世論調査」によると、相手との伝え合い(コミュニケーション)では何が重視されているか考える。 2 相手との伝え合い(コミュニケーション)の中で自分が重視していることは何か、考える。 3 考えたことをまわりの人と話し合う。 ※表現テーマ例集「コミュニケーション」	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 情報 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。	知識・技能 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。
			「届く言葉、届かない言葉」 ●情報を要約する	1 文章を読み、概要を把握する。 2 三つの事例を中心に三段落に分ける。 3 主張と事例の関係を捉え直す。	思考力、判断力、表現力等 読む ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。	思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
			「わかりあえないことから」 「聞く力」 ●情報を関連づけてまとめる	1 二つの文章を読み、それぞれの内容を要約する。 2 二人の筆者のコミュニケーションに対する考え方の特徴を指摘する。	思考力、判断力、表現力等 読む ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 ◆イ 異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする。	主体的に学習に取り組む態度 ・[知識・技能の評価規準]+[思考・判断・表現の評価規準]+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ア、読む(1)ア、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。		

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
5 6	2 確かな情報を伝えるために	8	「情報はつくられる」 ●情報を吟味する	1 教科書40ページの写真を見て、何の写真かを考え、まわりの人と意見交換する。 2 「情報はつくられる」を読み、「情報はつくられる」とはどういうことか、説明する。	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 情報 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 思考力、判断力、表現力等 話す・聞く ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 ◆ア 自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする。 ◆エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。	知識・技能 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 思考・判断・表現 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 主体的に学習に取り組む態度 ・ [知識・技能の評価規準]+[思考・判断・表現の評価規準]+[粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている] 。 例)話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、話す・聞く(1)ア、の場合
			「ひとまず、信じない」 ●情報と適切につきあう	1 文章を読み、概要を把握する。 2 「ひとまず、信じない」とあるが、なぜ「ひとまず」なのか説明する。 3 情報と適切につきあう方法について話し合う。 ※学びを深める「情報と身体」		
			「情報を編集し、的確に発表する —パブリックスピーチ」 ●情報を適切に編集する	1 情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」なども参考にしながら考える。 2 自分で調べた資料を加えて考えをまとめる。 3 まとめた自分の考えを3分間で発表する。 ※表現テーマ例集「メディア・リテラシー」		
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。		

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
6 ～ 7	3 情報を生かすために	8	「人が死なない防災」 ●情報を集めて選ぶ	1 文章を読み、概要を把握する。 2 「正常化の偏見」と「認知不協和」について、自分の体験をもとに説明する。 3 筆者の考える、災害情報が避難に結びつかない理由を整理する。 4 『逃げる住民』をどうやってつくるのか」という筆者の問いかけに対するあなたの考えを提案する。	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	知識・技能 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
			「減災学をつくる」 ●情報を整理する	1 文章を読み、概要を把握する。 2 減災のためのツールをつくる時に最も大切なことは何か、筆者の考えを説明する。 3 筆者の考えるハザードマップの問題点を、整理する。	情報 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。
			「評価した情報をまとめる — 報告書」 ●情報を作りかえる	1 2種類のハザードマップを比べ、気づいた点をメモする。(適宜「人が死なない防災」「減災学をつくる」における筆者の主張を確かめさせる。) 2 ハザードマップにタイムライン(防災行動計画)を加えたものが新たに提案されたことで、見た人々の避難に対する意識はどう変化するか、調べる。 3 「学習活動のヒント」を参考に報告書(またはその下書き)を書く。 ※表現テーマ例集「共生・環境」 ※学びを深める「情報の『メタ』化」	思考力、判断力、表現力等 書く ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 ◆ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる。	思考・判断・表現 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+【粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている】。 例)話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)ア、の場合
		「振り返り」	1 適宜、課題に取り組む。			

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
9 ～ 10	4 よりよい読み手になるために	8	「読むことのレッスン」 ●情報を分析・評価する	1 文章を読み、概要を把握する。 2 事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	知識・技能 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。
			「水の東西」 ●説明の方法を理解する	1 この文章で筆者が、何と何を、どのように比較しているかに注意して読む。 2 それぞれの部分で、筆者の主張がどのような事実に基づいているかを整理・分析する。 ※表現テーマ例集「文化」	情報 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。	思考・判断・表現 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
			「コインは円形か」 ●さまざまな視点から情報を捉える	1 文章を読み、概要を把握する。 2 文章中から「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。 3 筆者の示す「理由」は、どのような事例に支えられているか、まとめる。	思考力、判断力、表現力等 読む イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 ◆ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする。	主体的に学習に取り組む態度 ・ [知識・技能の評価規準]+[思考・判断・表現の評価規準]+[粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている] 。 例) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ウ、読む(1)イ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。		

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
10 ～ 11	5 場 に 応 じ て 伝 え る た め に	8	「中身当てクイズ」 ●根拠を明確にして考えを伝える	1 「中身当てクイズ」の概要を確認する。 2 各自でクイズの答えを考える。 3 グループやクラスでクイズの答えとその根拠を交流する。 ※学びを深める「マルジャーナの知恵」	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 情報 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。	知識・技能 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。
			「読み比べる 一海ガメの無念」 ●表現の仕方に注意する	1 AとBの文章を読み比べ、それぞれの文章の伝えたいことはどんなことか、各自で考える。 2 それぞれの文章の特徴を、構成と表現に着目して比較して表などにまとめ、グループなどで報告し合う。	思考力、判断力、表現力等 話す・聞く ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。 エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。	思考・判断・表現 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。
			「構成や展開を意識して発表する ープレゼンテーション」 ●相手を意識して自分の考えを伝える	1 聞き手を意識して、五枚のフリップを使った方法を確認する。 2 教科書の「学習活動2」にある問題などを参考にしてテーマを設定し、プレゼンテーションのフリップと発表原稿を作成する。 ※表現テーマ例集「科学技術」	主体的に学習に取り組む態度 ・ 【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+【粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている】。 例)話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、話す・聞く(1)ウ、の場合	
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。		

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
11 ～ 12	6 説得力を高めるために	8	「折々のことば」 ●引用の目的やはたらきを理解する	1 文章を読み、概要を把握する。 2 筆者が芦田愛菜さんの文章を引用した意図を、推論する。 3 引用の効果をふまえて自分の「折々のことば」を見つけ、記録する。	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。	知識・技能 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。
			「宝探してみたいに本の世界へ入っていきます」 ●説明の仕方を考える	1 文章を読み、概要を把握する。 2 筆者の「読書の楽しみ方」や「本との出会い方」をまとめよう。 ※学びを深める「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」	情報 オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。 思考力、判断力、表現力等 書く イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。	思考・判断・表現 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。
			「情報を整理して推薦する — ブックトーク原稿」 ●情報を活用する	1 自分の好きな本やおもしろいと思った本の紹介を書く。 2 「宝探してみたいに本の世界へ入っていきます」を参考に、実際に「本に触れる」ことをテーマとした提案をする。 3 次の手順を参考に、実際にブックトークをする。 ※表現テーマ例集「読書」	思考力、判断力、表現力等 書く イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 ◆イ 読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする。	主体的に学習に取り組む態度 ・ 〔知識・技能の評価規準〕 + 〔思考・判断・表現の評価規準〕 + 「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」 。 例) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ウ、書く(1)イ、の場合
		「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。			

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
1 ～ 2	7 説得力を高めるために	8	「檻の中の“街”」 ●ある事実をもとに未知の事柄を押し量る	1 教科書152～153ページの写真を見て、感じたこと(写っているもの、人々の生活など)を書き出す。 2 154ページ以降の文章を読み、写真で伝わること、文章で伝わること、写真と文章で伝わること、それぞれの違いを指摘する。	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 情報 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。	知識・技能 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・推論の仕方を理解し使っている。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。
			「小さな哲学者」 ●情報を関係づけてまとめる	1 文章を読み、概要を把握する。 2 筆者の伝えたかったことは何か、まとめよう。 3 「檻の中の“街、”と読み比べ、表現上の特色を指摘する。	思考力、判断力、表現力等 話す・聞く エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。 オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。	思考・判断・表現 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。
			「多様な意見に触れるーパネルディスカッション」 ●伝えることの意味や方法を理解する	1 さまざまな意見を出し合う話し合いの一つとしてのパネルディスカッションの方法について知る。 2 「パネルディスカッションの例」にあるパネラーの立場で、「檻の中の街」「小さな哲学者」の筆者の伝え方を評価する。 3 「パネルディスカッションの例」にある手順を参考に、司会者となってさまざまな意見を出し合う話し合いを行う。 ※表現テーマ例集「国際理解」	思考力、判断力、表現力等 話す・聞く エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。	主体的に学習に取り組む態度 ・ 〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+〔粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている〕。 例)比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使ったり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)カ、話す・聞く(1)エ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。		

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
2 ～ 3	8 よりよい書き手になるために	8	「ありのままの世界は見えない」 「ものとことば」 ●事例と主張の関係を整理する	1 教科書176ページの絵が何の絵に見えたか、隣の人に説明し合い、2通りの見方があることを認識する。 2 「ありのままの世界は見えない」で提示されている筆者の考えを、事例をもとに整理する。 3 「ものとことば」を読み、「ありのままの世界は見えない」と読み比べ、共通しているテーマはどのようなことか見つける。 ※学びを深める「真実はひとつじゃない」	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 情報 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 思考力、判断力、表現力等 書く ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 ◆ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する。	知識・技能 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・推論の仕方を理解し使っている。 思考・判断・表現 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 〔知識・技能の評価規準〕 + 〔思考・判断・表現の評価規準〕 + 〔粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている〕 。 例) 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)オ、書く(1)エ、の場合
			「情報を活用して説得的に書く—小論文」 ●自分なりの考えをまとめる	1 共通するテーマについて書かれた複数の文章から考えたことを、具体的な事例を用いて書く。		
			「書いた文章を批評し合う—推敲」 ●意図が十分に伝わる書き方を探る	1 書いた文章を批評し合う。 ※表現テーマ例集「認識・言語」		
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。		

月	単元	配当時間	「教材名」 ●教材のねらい	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
3	まとめ	2	「言葉で世界を豊かに」 ●世界を言葉で広げる	1 教科書204～205ページのイラストを見て、感じたことや考えたことをメモする。 2 イラストにタイトルとコピーをつける。 3 感じたことや考えたことをまわりの人と交流し、タイトルやコピーについてコメントし合う。	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 思考力、判断力、表現力等 書く イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫すること。	知識・技能 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 思考・判断・表現 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 主体的に学習に取り組む態度 ・[知識・技能の評価規準]+[思考・判断・表現の評価規準]+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。